



失業救済國道工事の執行を誤る勿れ

路 政 僧

積極政策を強調した政友會内閣時代にさへも、計畫することの出来なかつた程の大道路事業を、現内閣の手で執行するとは何人も豫想し得なかつた所であるが、幸か不幸か世の不景氣につれ失業者が簇出するので、遂に此種事業の實行を見るに至つた。此計畫に依つて國道の改良さるゝもの五十五里、府縣道の改良二百十六里の長きに亘つてゐるのであるから我が路政上劃期的事業と言つて可い。併しながら起興の動機が失業者を救済することに胚胎するので、施工地は失業者の最も多い都市又は其の附近に選擇され、失業者使役の見地から其の執行方法も直營に依らねばならぬ。施工期間も自ら制限されて昭和六年度中に完成せしむる必要がある。従つて野原に河川を改築する場合のやうに土地の買収や家屋の移轉は

容易ではない。使役労働者にしても普通入夫と違つて要救済者に限られ所定の勞力を一年間に消化せしめなければならぬ。此三つの點が普通道路工事の執行と趣を異にする所であつて、本事業の困難を豫想せしむるのも亦此點にある。

○
 今回のやうに政府が自ら國道改良工事を執行することは之を以て嚆矢とするのであつて、之が可否に就ては朝野ともに議論があつた。筆者が前號誌上に報導したやうに貴衆兩院の豫算總會に於ても随分議論され、國家が國道工事を執行せずとも、工事に多くの經驗を持つ地方廳をして執行せしむる方が容易であるのみならず、失業者を救済することに就ても便利である。態々之を國營して多くの人件費を消費する必要はない。其の人件費を以て失業者を救済せよと極論した人さえあつた位に八ヶ間敷論議された。又一方地方廳からも給料生活者の失業を救済する必要があるから地方に任せと言ふ要求があつた、併し國道國營主義は、道路政策の見地から要求さるゝ當然の歸結であるのと、政府の失業對策からして政府自ら救済事業を起興する社會の要求があつたのとで、國營事業案が是認され議會を通過したのである。

工事執行の機關の組織に就ても區々の議論があつた。内務省に國道課を新設して起工地に出張所を設け、自ら工事の執行を指導統制すると言ふのは吾人等の主張であつて、相當有力者も賛成したところであつたが、議會に於ける人件費節約に關する意見を參酌し成るべく人件費の節約することに爲つて、地方廳の援助を受くることを方針とし、既存土木出張所をして執行せしむることに爲つたのである。國營事業成立の經過と執行機關の決定とは叙上の通りであるから、筆者等の主張が正當であつたか否かは、此後土木出張所の活動如何に依つて解決さるべき運命に在る、従つて土木出張所の責任は重大であると言はねばならぬ。

今は工事施行中であるから多くを言はない、唯だ監視の外ないのであるが、人件費節約の爲に已むなく採つた執行機關の制度に對しては今も尙懸念を藏する、蓋し河川や港灣の技術を専門とする技術官に道路技術を要求することは無理である。殊に從來土木出張所が執行した河川、港灣の事業は常に繼續費を以て執行され、初年度に於ける事業の遅延は後年度に於て取戻すことが出来たが、我が道路事業は一年間に完成することを必要とするのであつて、從來に於ける事業の經營と餘程違つてゐる。果たして之を計畫通り爲し遂げ得るやは頗る懸念に耐えない。

今回の事業が國道國營主義の下に計畫されたにしても、此事業に依つて地方の受くる利益の著大なことに鑑み、又之に依つて地方の失業者が救済されることに稽えても、地方廳は唯だ國家が執行する事業として無關心たるべきではない、況んや今回の計畫に於ては地方廳の援助を受くることを前提として執行組織が編制されたものに於て殊に然りとする、従つて此事業の執行促進に關しては地方廳も亦援助すべき責任があると言はねばならぬ。

現在の狀況からすれば世の不景氣は今俄に去りさうにもない、官吏減俸問題や恩給減額問題までが論議されてゐる今日に於ては、尙失業者の簇出を豫想せねばならぬ、従つて明年度も亦失業救済事業の施行を必要とするに至るは明かであらう。此場合に於て再び道路事業が失業者救済の爲に適當なものとして是認されるか否かは、一に土木出張所の此後に於ける活動如何に依つて判斷されるのである、加之國道國營の是否や國道工事直轄の得失が決算されるのも亦之に依るのである筆者は萬が一にも其執行方法を誤るものありとすれば鼓を鳴らして其責を問ふことあるべきを豫告し、出張所の活動を望んで已まないと同時に地方廳も亦叙上事業の重要性に鑑み自己の職務として事業を援助せむことを切望して已まない。